
綺麗な泉の夢

FRIDAY

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

綺麗な泉の夢

【Nコード】

N3097M

【作者名】

FRIDAY

【あらすじ】

どこにでもいる少女は夢を見た。

それは綺麗な泉・・・、

そして笑顔が素敵な女性の夢。

少女はそれに何を思うのか・・・。

ピチヨン・・・・・・・・・・

水の音が聞こえる・・・。

私はどこにいるのか・・・・・・・・・・？

水のある場所・・・・・・・・。

家の前の池？

それとも・・・・・・・・。

『気がついた？』

・・・・！

声をかけられた。

綺麗な泉のそばの草原に立っている女の人……。

誰……ですか……？

『私は誰でしょうか？ふふっ。』

こっちが知りたいです。

しかしここはどこだろう……。

現実味がない……。

そして聡明で明るくて綺麗……。

いい香りがする。

花のような……甘い香り……。

『なんであなたがここにいるかわかる?』

・・・わかりません。

ってか、ここはどこですか？

『あなたの夢の中よ。ほら見て。』

女の方はあちらのほうに流れている川を指差す。

何でだろう・・・行きたい・・・。

『あっちには絶対に行っちゃダメよ?』

・・・はい。

『あー。あなた今行こうとしたでしょ?ダメよ。あっちに行つては死んでしまうわ。』

は？

どうして。。。。。

『思い出してみて。あなたが眠りに付く前のことを。。。。。』

私が眠りに。。。。。

つく前。。。。。。。。？？

・ ・ ・

そう・・・今の季節は夏。

私は友達と待ち合わせをしていたんだ。

夏祭りに行くために私は図書館で待ち合わせをしてたけど

変更になって反対側の工事現場になったんだ・・・。

そして私はみんなより早く着いちゃって・・・。

そしたら上に大きな影が来て・・・。

ガラガラって……。

血が……。

目の前が暗くなる……。

痛い……けど……。

頭がボーっとして……。

そして……。

『思い出した？』

はい。

『あれは何だと思っ？』

えっと……三途の川とでも？

『当たり前。』

マジで!？

『……だから行っちゃダメよ。』

はい……。

ってか私今生死の境目ってやつ!?

『戻りたい? 生きたい?』

生きたいわよ!

だって……

だって……

ってかあんたは誰なのよ!!!

『……』

早く戻りたい……。

ここなんかいたくない…………。

『今、医者たちが手術をしているところかしら？今戻ったら頭痛くなるわよ？』

えつつ……………!？

『それまでこの話をしてあげる。』

あ、どーも…………。

『ここはね、あなたの生死の境目ってところかしら？私はこの住人とでも呼んどいて。』

女の人はウィンクする。

私は……。

生死の境目で……。

今ものすごくすごい体験をして……。

『あ、そろそろ終わったわね……。』

女の方は名残惜しそうに私を見つめた。

『今、戻すわ。目を瞑って。』

私は言われるがままにした。

『あなたと話せて楽しかったわ……』

さよなら……』

少し体が軽くなった。

そして聞こえる声……。

……私の生まれ変わり……。

「……！」

私気がついたのは病室だった。

私は思った。

あれは私の前世の姿ではないかと・・・。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3097m/>

綺麗な泉の夢

2010年10月26日08時23分発行